

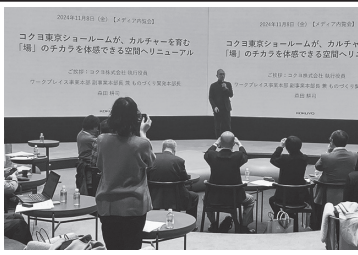
企業文化育む空間へ

コクヨ株式会社「東京シヨールーム」をリニューアル

コクヨ株式会社（黒田英邦社長、大阪市）は、12月中旬より東京・港区港南の東京シヨールームを「らしき」をもっと、ワークプレイスに。をコンセプトとして、企業カルチャーを育む「場のチカラ」を体感できる空間へ、リニューアルオープンする。

仕事に対する価値観や働き方がより多様化した現在、チームとしての「らしき」を共有しながら一人ひとりの「らしき」を発揮できる場所が求められている。コクヨ株式会社は、この「らしき」を体感できる空間へ、リニューアルオープンする。

仕事に対する価値観や働き方がより多様化した現在、チームとしての「らしき」を共有しながら一人ひとりの「らしき」を発揮できる場所が求められている。コクヨ株式会社は、この「らしき」を体感できる空間へ、リニューアルオープンする。



メデア内覧会で説明する森田執行役員

過去最大規模で開催

12月12日
15日
文具女子博
パシフィコ横浜で

日販グループの日販セグモ株式会社（安井邦好社長、東京都）は、12月12～15日の4日間、横浜・みなとみらいのパシフィコ横浜で開催する文具の即売イベント「文具女子博2024」の概要を発表した。

今年のテーマは「ときどき！ネオ文具シテイ」。昔のモノが新しくなる、復活という意味の「ネオ」。デジタルが主流なこの時代だ

「文具女子博2024」の概要を発表した。今年のテーマは「ときどき！ネオ文具シテイ」。昔のモノが新しくなる、復活という意味の「ネオ」。デジタルが主流なこの時代だ

一棟まるごとリノベーションサービス」やチームコンディショニングの把握と、伴走支援を行う新ソリューション（開発中）なども紹介する。

リニューアルオープンに先立ち、11月8日に東京シヨールームで、森田耕司執行役員・ワークプレイス事業本部副部長兼永井潤ワークプレイス事業本部ワークスタイルマーケティング部長が出席して、メデア内覧会を開催した。森田執行役員は「コロナ禍を経て、働き方は多様化している。在宅勤務には、ハイブリッドワーク、ABW（Activity Based Working）などが進展する中で、帰属意識の向上やリアルコミュニケーションを活性化して生産性向上を図ろうと、社内帰属を促す取り組みが広がっている。今回、同イベントには、株式会社エムティエス（都立志社社長、東京都）が共催として参加する。

入場料（税込）は、12、13日が950円、14、15日が1050円、プレミアムタイム（11日午後2時から）が1650円。発券手数料は別。事前に入場チケットの購入が必要で、当日入場券の用意はない。



チーム環境を重視したラウンジ

「DAYS OFFICE」は、ワークオフィスの基礎となるのがワークプレイスとしてとらえている」と話し、顧客のニーズを実現するオフィス家具ブランド。職場の仲間たちが自然とつながり、ポータレシなコミュニケーション環境を実現するためにトレンドに合わせてカラー体系を見直し、アップデート。併せて、ラウンジ空間におけるよりカジュアルなコミュニケーションを促進するためラウンジ用モジュールソファ「wired sofa」をリニューアル。

「SAIBI」シリーズは、2014年に発売されたハイグレードなテーブルシリーズ。細部までこだわり抜いた機能美が好評を博し、執務室から会議、役員空間まで広く採用されている。オフィスにおけるラウンジスペースの拡大を受けて、ラウンジテーブル「SAIBI-LX」を発売。また、執務・会議空間に適した「SAIBI」「SAIBI-TX」はデザインをリニューアル。

「Any way」は、機能性に富んだシンプルなデザインと気分が上がるカラーリングが特徴の家具ブランド。発売以来、好評を得て、ワーカーがコラボレーションに没頭できるよう、チームで動く2つのスタイルを提案し、リブランディング。スタッキング可能で荷物置きとしても使えるツール、360度キャスター付きのホワイトボード、軽快に動かせるディスプレイスタンド、クロス張りのスクリーンの4商品が登場。

サスティナブルな試みでは、コクヨのノートなどの製造工程で発生する端材を活用した張地「カミカラ」が誕生。



HAGURUMA

過去最大の規模で開催する。業界関連の出店社（ブランド）は、UN TROIS CINQ（アクトワサック）、エックンワークス、学研ステイフル、クツワ、呉竹、コクヨ、SASAGAWA、サンスター文具、サンピ、シヤチハタ、シヨウワノート、セラー万年筆、ダイゴ、TAGS TATIONERY、ツバメノート、デビカ、ナカガワ文具センター、ナカバヤシ、日本ノート、日本理化工業、パイロットコーポレーション、フエキ糊、ベ

また、同イベントには株式会社エムティエス（都立志社社長、東京都）が共催として参加する。入場料（税込）は、12、13日が950円、14、15日が1050円、プレミアムタイム（11日午後2時から）が1650円。発券手数料は別。事前に入場チケットの購入が必要で、当日入場券の用意はない。

企業カルチャーを支えるのがワークスタイルであり、その基礎となるのがワークプレイスとしてとらえている」と話し、顧客のニーズを実現するオフィス家具ブランド。職場の仲間たちが自然とつながり、ポータレシなコミュニケーション環境を実現するためにトレンドに合わせてカラー体系を見直し、アップデート。併せて、ラウンジ空間におけるよりカジュアルなコミュニケーションを促進するためラウンジ用モジュールソファ「wired sofa」をリニューアル。

「SAIBI」シリーズは、2014年に発売されたハイグレードなテーブルシリーズ。細部までこだわり抜いた機能美が好評を博し、執務室から会議、役員空間まで広く採用されている。オフィスにおけるラウンジスペースの拡大を受けて、ラウンジテーブル「SAIBI-LX」を発売。また、執務・会議空間に適した「SAIBI」「SAIBI-TX」はデザインをリニューアル。

「Any way」は、機能性に富んだシンプルなデザインと気分が上がるカラーリングが特徴の家具ブランド。発売以来、好評を得て、ワーカーがコラボレーションに没頭できるよう、チームで動く2つのスタイルを提案し、リブランディング。スタッキング可能で荷物置きとしても使えるツール、360度キャスター付きのホワイトボード、軽快に動かせるディスプレイスタンド、クロス張りのスクリーンの4商品が登場。

サスティナブルな試みでは、コクヨのノートなどの製造工程で発生する端材を活用した張地「カミカラ」が誕生。

KOKUYO

貼るって、こんなに変わる。

GLOC